

危機回避から、 成長復帰に向けて

2011年5月11日

テルモ株式会社

代表取締役社長

新宅 祐太郎

被災状況と危機回避

- 社員の人的被害なし、静岡県直下型地震にもかかわらず、工場復旧は予想以上
- 原料不足、計画停電による一時的稼働率低下はあったが、想定以下に収まった
- 石化系原料は何とか繋がったが、電子部品は不安が残る
- 製品供給不安、海外での放射能懸念への対応

被災地への支援活動

- 医療を止めない(製品安定供給)
- 支援物資、義援金
 - 必要なモノを必要としている相手に
 - ー 支援物資は医療ルートを活用(医療学会・協会、医療機関)

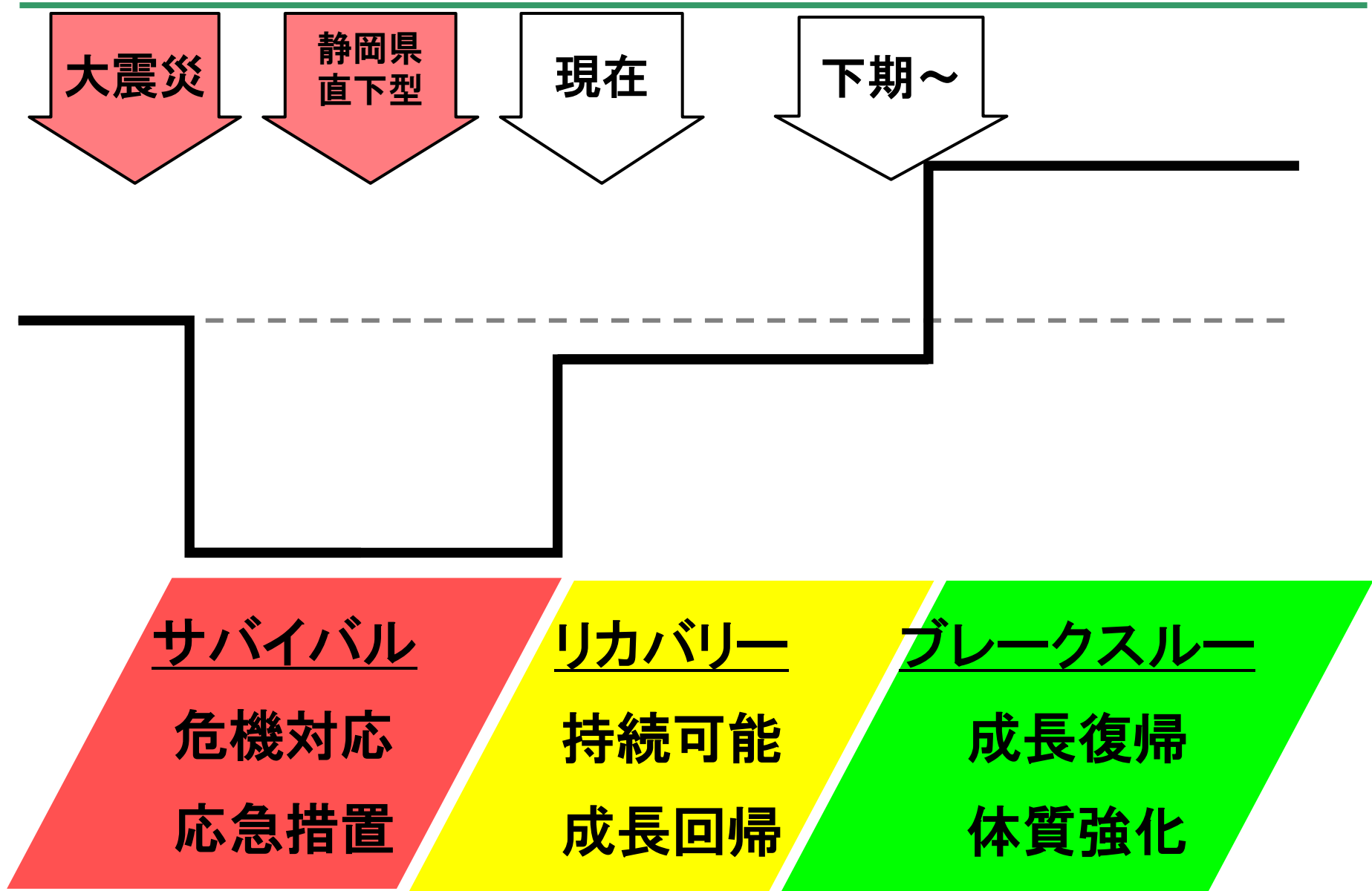


低体温計

圧迫ストッキング など

- 義援金は社員分に会社がマッチングし拠出
 - ー 義援金、物資あわせ総額2億4千万円相当

復興推進：三段階の取組み



成長復帰に向けた重点戦略

- 事業のグローバル化加速
 - － CaridianBCT買収の重要性増す
- 生産グローバル化の前倒し
 - － 原料現地調達
 - － リスク分散
- 災害対応力強化：自家発電、ITなど



今後、中期計画に反映

《おことわり》

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。